

農試第291号
平成20年3月18日

各関係機関の長様

福井県農業試験場長
(公印省略)

農作物病虫害発生予察予報の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。

連絡先	福井県農業試験場 病虫害防除室
Tel	0776-54-5100
FAX	0776-54-6403
E-mail	kfki0301@sp.jppn.ne.jp

平成20年農作物病虫害発生予察予報第1号

3月～4月の気象概況

3月の気温は平年並みか高い、降水量は平年並み、日照時間は平年並み、4月の気温は平年並みか高い、降水量は平年並み、日照時間は平年並みと予想されます。

〔水稻関係〕

病虫害名 ばか苗病

1. 予報内容

発生時期：発病最盛期は4月下旬

被害程度：微発、局少発

発生量：育苗期の発生量は平年より少なく、前年並み。

2. 防除対策および防除上の注意点

(1) 種子は無発病圃場のものを選定する。

(2) 種子消毒の前に比重選を行う。

(3) 消毒済み種子でない場合は浸種前に種子消毒を必ず行う。

(4) 薬剤による消毒後は十分風乾し、籾に薬剤を固着させる。

(5) 薬剤による消毒種子は浸種開始から3日間は換水をしない。

(6) 薬剤の残液は、河川や池などに流さず、適正に処理する。

(7) 温湯処理による種子消毒は処理温度と時間を厳守する。

病虫害名 苗いもち

1. 予報内容

発生時期：初発は4月中旬

発生程度：少発

発生量：育苗期の発生量は、平年より少なく、前年より多い。

2. 防除対策および防除上の注意すべき事項

(1) 比重選、種子消毒を十分に行う。

(2) 種籾が露出していると発生しやすいので、厚まきはさけ、覆土を十分に行う。

(3) 育苗施設内の換気に気を付け、過湿にしないようする。

- (4) 育苗施設内や周辺に放置してある稲わらや籾がらは伝染源となるので、除去する。
- (5) 育苗箱施用剤にMB I-D剤を使用している育苗センターや農家では耐性菌が存在した場合の防除効果が高めるため、播種時に苗いもちおよび苗立枯病予防に効果のあるベノミルを含む薬剤を併用するよう努める。
- (6) 発病の恐れがある場合や発生を確認した場合には液剤、水和剤で防除する。育苗期の薬剤防除は苗いもちだけでなく、本田の葉いもちを抑制する効果がある。

水稻育苗後に野菜等を栽培する場合の注意事項

- (1) 育苗した圃場（育苗ハウス）で他作物を栽培する場合は、播種時や育苗圃場（育苗ハウス）での箱施薬を行わず、移植当日に水田の畦畔などで苗箱施薬を行う。
- (2) プール育苗においては、育苗期に施用した農薬が土壤に浸透しないようにする。
- (3) 箱施薬した苗や育苗残土を育苗圃場（育苗ハウス）や畑には廃棄しない。

病害虫名 各種苗立枯病（糸状菌）

1. 予報内容

発生時期：初発は4月中旬

発生程度：少発

発生量：平年より少なく、前年並み。

2. 防除対策および防除上の注意すべき事項

- (1) 床土のpHは4.5～5.1程度とする。
- (2) 前年発生を認めた育苗箱や古い育苗箱は洗浄消毒する。床土消毒は病原菌によって防除剤が異なるので注意する。
- (3) 極端な早播き、厚播きを避け、育苗ハウスの温湿度管理（夜間5℃以下、昼間25℃以上にならないように管理する。多湿を避ける）に留意し健苗育成に努める。

病害虫名 褐条病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病

1. 予報内容

発生時期：初発は4月中旬

発生程度：少発、局中発

発生量：平年より少なく、前年より多い。

2. 防除対策および防除上の注意すべき事項

- (1) 床土のpHは4.5～5.1程度とする。
- (2) 傷籾の混入が多い種子は使用を避ける。
- (3) 極端な早播き、厚播きを避け、育苗ハウスの温湿度管理（夜間5℃以下、昼間25℃以上にならないように管理し、多湿を避ける）に留意し健苗育成に努める。
また、灌水に湖沼や河川の水は使用しない。
- (4) ハトムネ催芽器を使用すると褐条病の発生が多くなるので注意する。
- (5) もみ枯細菌病、褐条病発生地およびその周辺の種籾は使用しない。
- (6) 消毒後は、必ず風乾し、薬剤を固着させる。
- (7) 発病後の防除薬剤はないので注意する。

[野菜関係]

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発生量	
全 般	根腐病 苗立枯病	育苗期	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	・作目、病原菌に登録のある農薬を選択し、適正に防除する。

[果樹関係]

果樹名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発生量	
ウ メ	灰色かび病	4月上旬～ 4月下旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：多い	・防除体系に基づき予防防除を行う。 ・開花終了後に低温、降雨が連続する場合は、追加防除を行う。
	かいよう病	果実初発 4月下旬 ～5月上旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	・防除体系に基づき開花終了直後から予防防除を行う。 ・開花終了後に強風、降雹が発生した場合は、追加の防除を行う。
	黒星病	果実初発 5月下旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	・防除体系に基づき、開花終了直後から防除を行う。